

そよかぜ

題字 小野倉藏

なかべ学院
 中部少年学院後援会
 〒750-0081
 山口県下関市彦島角倉町
 3丁目6番17号
 TEL (083) 266-1934
 発行 広報部
 印刷
 (株) ナカハラプリンテックス
 TEL (083) 266-4601



ご挨拶

下関市長 前田 晋太郎

皆さん、こんにちは。下関市長の前田晋太郎です。秋も深まり、冬が駆け足で近づいているようですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

毎年11月は「児童虐待防止推進月間」です。ここ数年、全国各地で発生した児童虐待のニュースがテレビ等で絶え間なく報道されており、社会的にも児童虐待の防止が大きな課題となっています。

下関市では、毎年、なかべこども家庭支援センター紙風船が中心となつて実施される「オレンジリボンたすきりレー」の後援を行っています。本年は、新型コロナウイルス感染症への配慮から、例年の「たすきりレー」に替えて、「下関オレンジリボンアクション2020」として、児童虐待防止の象徴である「オレンジリボン」をテーマに、市内各所で様々なイベントが実施されました。触れ合いの機会は限られますが、日頃から児童虐待防止に取り組む皆様をはじめ、私たち一人ひとりの児童虐待を失くしたいという思いが「たすきりレー」のように市民の皆様 に伝わり、広がっていくことを心より願っております。

また、学校の休業や外出自粛など、子どもや家庭の生活環境が大きく変化しています。日常生活においてストレスを感じる場面も多く、児童虐待のリスクの高まりも懸念されます。このような状況の中でも、全ての子どもたちが大人の暴力や養育放棄に脅えることなく健やかに成長することが地域そして社会全体の願いであり、明るい未来への希望でもあります。

本市も地域の方々をはじめ関係の皆様と連携して、子どもたち、そしてその保護者の方々への支援をさらに推進していきたいと考えていますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、社会福祉法人中部少年学院がこれからも末永く笑顔あふれ心温まる場所でありませう、また、職員や関係の皆様のおますますのご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。

児童養護施設

風ホーム 今年度の風ホームは、高校生1名、中学生5名、小学生4名の計10名でスタートしました。

今年のゴールデンウィークは、自粛中だった為、食堂で焼肉パーティーとカラオケ大会を楽しみました。準備から張り切っておにぎりを作ってくれた子、包丁を上手に使用し野菜を切る子、ホットプレートでお肉をどんどん焼いてくれる子、座りひたすら食べる子と、皆それぞれの役割があり、楽しむことが出来ました。食後のカラオケ大会も美声を食堂いっぱいに響かせていました。とにかく、おしゃべり好きの女の子が多く、時には、音の食い違いもあり、喧嘩になる事もありますが、直ぐに仲直りして笑っています。

風ホームの子とも達が「相手の気持ちを考えられる事が出来る子」とも思っています。思いやり、心が持てる優しい子、も「ここに居てほしい」と思っている、沢山の愛情を注いでいきたいと思っています。



海ホーム 今年度は、コロナ禍の影響もあり、いつもと違うスタートとなりました。新学期が始まって通学できず、入学後も通学できない子ども達もいました。各学校の対応も異なり、オンライン授業や、家庭での課題学習など、それぞれの状況に合わせて、学校生活を送っています。六月頃より、ほぼ通常通りとなり、子ども達も不安がある中、頑張っています。子どもも職員も体調管理、社会情勢などには特に気を付けて生活を送っています。



鳥ホーム 今年度を迎え、つづ年が上がりました。幼稚園に入園し新しい制服を着て入園式に参加。今まで通っていた幼稚園とは別の幼稚園に通う事になり、制服姿に職員は目もハートマークです。小学校・中学校・高校、すべての入学式で一緒に喜びました。



乳児院

光 さくらホームには、一月児から五カ月児までの乳児六名が暮らしています。皆、元気良く泣き、たろろミルクを飲みスクスクと育っています。語りかけに可愛い笑顔を見せ「アー」「ウー」と喃語を発し、全職員の癒しとなっています。

ちゅりっぷホームは、女兒五名の賑やかなホームです。毎日、元気いっぱいの子とも達は水遊びをしたり、りんご狩りに行ったりと楽しむことが出来ました。これからも笑顔溢れる日々を過ごしていきたいと思っています。



花ホーム 「早く学校に行きたい」と想定外の長期休みに戸惑っていた子ども達。コロナ禍の中で迎えた新年度は、ホームのメンバーや職員も新しくなり、期待に胸を膨らませるよりは、不安や戸惑いが大きかったのではないのでしょうか。色々な意味での「新しい生活様式」のスタートです。

そして迎えた夏休み、「3密を避けて何をしようか」と試行錯誤です。そんな中でも朝早くから挑戦した釣りは、大人が思う以上に大喜びでした。百匹以上のアジが連れて大満足で、魚が苦手な子も美味しく頂きました。

さらに花ホームはこの秋、改修工事を行い、スプーン居室に生まれ変わりました。工事中の他ホームとの共同生活から帰ってきた時の安心した顔に、こちらも安心してました。

今までの当たり前が通用しない世の中ですが、沢山の事を経験させてあげたいなと思います。3密にはならないように、親密に：心に寄り添えるホームでいたいと思います。



月ホーム 今年の月ホームは、メンバーも代わり雰囲気もまた変わりました。幼稚園児から高校生までいるのですが、みんな甘んばるほさんばかりです。でも、甘い上手でかわいいたくもあれば、しっかりして職員の助けられる事もたくさんあります。高校生は学校や部活で忙しいにも関わらず、夕食後の食器の片付けは頼まなくても最後までできてくれてとても助かっています。

今年度はコロナウイルスの影響で、外出する事も減り我慢させる事も多かったです。そんな中での思い出は、学院内のバーベキュー、食べる事みんな大好き！欲張りすぎて買い過ぎたお肉も全部食べてお腹もパンパン！夏には海水浴に行く事も出来て、海に入ると怖くて大きな声で泣く子もいましたが、それもまた良い思い出になってくれたら良いなと思っています。



半年って長いようで短いですね。このメンバーと一緒にいる時間を大切にしていきたいです。

そよ風

秋祭り

今年度は、コロナ禍の影響で学校行事が中止になりました。いろいろなイベントがなくなったりと子ども達の楽しみが減った中で、そよ風ではソーシャリティスタンスを保ちながらこのようにイベントを取り入れ、どのように取り組むか話し合いを重ねました。

春の終わりに感じ、感染予防も一部緩和されたので、人の少ない時間帯に公園に出掛けました。夏には、去年は中止したボール遊びをして子ども達の嬉しそうな顔を見ることができました。そして秋の始まりには、秋祭りとして称して、魚釣り、くじ引き、輪投げゲーム、お菓子をくじ、ボールゲーム、的当て、毎日品を変えて職員と一緒に楽しみ準備の製作も魚輪、鉄砲などを作りました。



またまたコロナの終息も見えない中、これからも感染予防に努めながら楽しみを見つけていきたいと思います。

輝 ひまわりホームの子とも達四名は、食べることに遊ぶことが大好きです。夏には水遊びを楽しむ、秋には院内で育てた芋を掘り、大きな芋に大喜びでした。子ども達の成長を見守りながら、一緒に楽しく過ごしたいと思っています。

ももホームは女兒一名、男児一名、泣いたり笑ったり元気いっぱいです。「靴下を自分で履け」「パンパンマンって言った！」日々の成長を子ども達と共に喜び、プール遊び、じり作り、芋掘りなど様々な体験を共に楽しみ、充実した毎日を送っています。



紙風船

「コロナ禍での家庭支援」

今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により、紙風船の家庭支援にも大きな影響が出ました。特に、緊急事態宣言時には訪問支援を中止にし、電話連絡等で様子を伺うしか出来ない歯がゆい時期を過ごしました。

コロナ禍に於いては、外出自粛によるストレスフルな状態から、虐待リスクの高まりが危惧され、コロナ対策を施しながら支援にあたる必要がありました。まずは、職員の出勤時の健康チェックと検温を実施。次に、来所時、訪問時に相談者の検温とマスクの着用、アルコール消毒の徹底を図りました。

また、山口県からのコロナ対策補助金を活用し、各部屋にプラスチックenster空気清浄機を相談室の机上には透明パーテーションを購入し設置しました。今後もコロナ禍は続きそうですが、感染拡大に最大限注意を払いながら必要な支援を積極的に行っていくきたいと思います。



夢 すみれホームの子ども達は、元氣いっぱい笑顔で過ごしています。自分でやりたいという気持ちが見られ、自分で頑張ろうとする姿が見られるようになりました。小さな成長を子どもと共に喜んでいきます。職員も一緒に成長していきたいと思っています。

たんぽぽホーム。出来なかつたことが出来るようになった時の喜びと驚き、何でも挑戦してみようとする向上心の素晴らしさを感じる毎日。たんぽぽの花言葉「真心の愛」を胸に、ホーム職員一同、より良い養育が出来るよう日々奮闘し頑張っています。

社会福祉法人 中部少年学院後援会

令和元年度 収支報告書

(単位 円)

Table with financial data including income (収入) and expenses (支出) sections, with columns for item, actual amount, budget, and difference.

社会福祉法人 中部少年学院 後援会 様
令和元年度の収支について、上記のとおり報告いたします。
令和2年 7月9日
社会福祉法人中部少年学院 後援会 会 計 田上 千代
監査の結果、上記のとおり整理されており正当と認めます。
令和2年 7月9日
会計監査 小倉 國雄

【寄附・寄贈】 (順不同 敬称略) 令和元年4月〜令和2年9月
たくさんの方の皆様のご支援に心から感謝申し上げます。

- List of donors and recipients including individuals and organizations like 佐久間 一公, 黒津愛美, 下関青年神職会, etc.

オレンジリボン運動



① オレンジリボンイルミネーション
11月1日(月)にオープニングとして前田下関市長他のご来賓にご臨席賜り、「はいーからっ」と横丁観覧車に夜空を彩るオレンジイルミネーションを灯す点灯式を開催しました。



② サンデンバス広告
同じく11月1日(月)からサンデン交通路線バスに「虐待かな?」と思ったら189(いちはやく)というステッカーを月末まで掲示していただきます。

③ 児童虐待防止啓発パネル展
シーモール下関2Fピアモールにて、児童虐待防止啓発のパネル展を開催しました。パネルには、虐待の種別や被害を受けた子ども達はどうなるのか、なぜ虐待が起こるのか、詳しくパネルで展示し、来場者に見て頂きました。

④ 啓発ポケットティッシュ配布
市内の小中学生以下の児童にオレンジリボンポケットティッシュを配布しました。

今年で12年目を迎えるオレンジリボンたすきリレーin下関ですが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「下関オレンジリボンアクション2020」と内容を変更し様々な啓発活動を展開しました。
本年度も多くの団体・個人の皆様のご理解とご協力を得て、児童虐待防止啓発活動を開催出来ましたことに深く感謝申し上げます。



⑤ オレンジリボンツリー制作
児童虐待防止の願いをメッセージカードに書いて頂きオレンジリボンツリーに飾り、パネル展会場と市役所に展示しました。たくさんの方々のご願いが通じることが祈っています。

⑥ オレンジアピール
ご賛同頂いた方に、オレンジリボンマグネット、オレンジTシャツ、オレンジマスクなどを着用して頂き、市内をオレンジ色に染める活動を行い、これまで以上にオレンジリボンを目にする回数が増やし、市民の方々に関心をもってもらいたくような企画を実施いたしました。
全国の児童相談所への児童虐待相談対応件数は毎年更新し続け、悲惨な虐待死事件も後を絶ちません。ご承知の通り、児童虐待は子どもへの健全な発育・発達を阻害し、生涯に渡り深刻な影響を及ぼします。
虐待をなくすためには、一人ひとりの勇気と行動が大切です。多くの人に虐待を身近に感じていただき、困っている人がいたら手を差し伸べてあげてほしいと思います。
「ごどもの笑顔と未来を守りたい」というスローガンの元、我々が出来ることをみんなで一緒に考え行動に移して行きましょう。



理事長 石川 啓

啓さんの知恵袋

「育の一字」

育は子(こ)と月(つき)を組み合わせた姿。子は生まれた子ども、逆さまの形で、その下に月を加えて人の体であることを示します。子どもが生まれる形の育には、子どもを「うむ・そだつ・そだてる」という意味があり、生育・発育・育成などと用いられています。

後援会加入のお願い

後援会事務局

法人年会費 一口 一万円
個人年会費 一口 千円

何口加入されてもかまいません。

お問い合わせはなかべ学院まで

TEL 083-266-11934

編集後記

2009年11月17日 下関市役所前三角公園の場所から、オレンジリボンのたすきが12人のランナーにより2区の間門トンネル人道口へ向かってスタートしました。3区、4区とリレーされ、山陽小野田、宇部を経由し山口へ到着しました。会場では、萩地区、周南地区等から沢山の人が集合し、リレーしたたすきが会場いっぱいになり、まさに「児童虐待ゼロ運動」の始まりでした。

2020年は、点と線をつないできたオレンジリボンのたすきを、面により多くの皆様を知っていたため、はいからっ」と横丁の観覧車、海峡ゆめタワーなどをオレンジ色にライトアップして頂き、大きなリボンができ、市内がオレンジカラーに染まりました。

オレンジリボン運動実行委員の皆様、企画から運営までお疲れさまでした。

太刀山 逸男